

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、細江圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和4年11月22日（火）10時から11時30分まで
参加者	25名 協議体委員14名（地区10名、事業所等4名）、 関係機関15名（高齢者福祉課1名、北区長寿保険課1名、包括三方原6名、市社協地域支援課1名、市社協北地区センター4名、市社協浜松地区センター2名）
場所	引佐多目的研修センター ホール
内容	<p>1. 開 会 司会 第二層 細江圏域生活支援コーディネーター 益本</p> <p>2. 挨拶 細江圏域生活支援体制づくり協議体 A会長</p> <p>3. 自己紹介 新任の紹介</p> <p>4. 協議内容</p> <p>①第1回会議の振り返り</p> <p>②圏域内の動き 各5分</p> <p>○引佐地区自治会連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠鉄バスの伊平線が10月から廃止になった。数年のうちに遠鉄バス奥山線は運行停止する予定。その代わりに引佐みどりバスの運行を週5日間運行していきたい。</li> <li>・中山間地域の特有ではあるが整形外科・眼科・皮膚科が無い。聖隷病院付近まで通っている人が多い。</li> <li>・細江マックスバリュが移動販売をしたいとの事で北区各自治会ごとに要望を集めている。</li> </ul> <p>○地域包括支援センター細江</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯の事 5.6年前から高齢者世帯が2人暮らしも増えてきた。市内の他地域と比べてサービス種類・量が十分では無い。サービスが増えれば地域で生活できると思う事は多い。</li> <li>・未婚の子との3人.2人暮らしも多い。8050問題、引きこもり等複数の課題を抱える世帯が多い。（障碍なども多い） どちらの場合も生活困窮者が増えている。</li> </ul> <p>③グループワーク〈包括で相談を受けた具体的な課題に対する社会資源の創出〉</p> <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は個人が知っている社会資源だけでなく、地域に欲しい社会資源の内容について話し合ってもらいたい。</li> <li>・活動の裏付けになるような地域の情報。特に地域での困りごとなど。</li> </ul>

●意見交換・情報交換内容まとめ

グループ A (ファミリー/中西)

- ・前提として地域の意見を聞かなくてはいけない。

ゴミ出し課題について

- ・新聞屋に朝回収を頼む。 ・移動スーパーに回収を頼む
- ・小学生中学生に回収してもらおう。 ・障がい者団体に雇用として回収してもらおう。

グループ B (ファミリー/伊藤)

- ・アンケートを取る場合、デイサービス利用者などの当事者の方に向け、アンケートが届くように配慮する。

- ・本人と家族の思いが交わらない場合もあるという体験談。
- ・地域でのコミュニティーができて近所には困りごとを頼れない。
- ・自分の子供にも困りごとを頼み憎い。

ゴミ出し課題について

- ・行政が家の前まで回収してくれればという意見。
- ・指定日以外でも回収できるステーションが欲しい。
- ・子育て世帯も収入を得られるようなゴミ出し支援活動。
- ・家事支援の有償ボランティアではなくビジネス化を検討しては？

グループ C (ファミリー/三室)

- ・地域ごとに生活状況が異なる為、地域の課題の把握を全体で行うことは難しい。

ゴミ出し課題について

- ・地域での助け合いでどうにかなっている所が多い。
- ・家事支援を立ち上げてニーズが上がってこない。
- ・家事支援まで地域との関係がある為声を上げるのが難しい。
- ・デイサービスの送迎でゴミを回収してもらおう。

まとめ

○講師

I. 今後の協議体の展望

- ・障害者の事業所に呼び掛ける ・新聞屋との連携
- ・子育て家定ができる有償サービス。 ・退職したヘルパーへの呼びかけ。

II. 商工会との連携

- ・商工会女性部との連携 ・床屋さんとの連携協力

○奥浜名湖商工会局長

- ・会議の様子を見て商工会として協力したい。

5. 来年度の開催数と日程 (案) について

令和5年2月14日 (月) 13:30～ みをつくし文化センター

\* 事前打合せ会 ; 1月10日 (土) 13:00～市社協北地区センター (正副会長)

6. 閉会の言葉 生活支援体制づくり協議体 M 副会長

今後の見通し等	<p>今回開催した第二回細江圏域協議体会議では10年後を見据え、1つはこのまま地域に住み続けるにはどのような社会資源やサービスが必要なのか、2つ目にサービス策定の上で必要な情報やデータについてグループワークで話し合った。</p> <p>グループワークでは地域や個人の課題や必要なサービスが出る中で、後半からはCグループで取り上げられた「ゴミ捨てについての課題」に会場全体で話し合い、地域や個人によってゴミ捨てに関わる課題が異なる事が分かった。</p> <p>今後社協として商工会と連携し、女性部に地域の課題を共有する事、地域の社会資源との連携を行う。</p> <p>最終的にはサービス創出に向けたアンケートで具体的な地域課題の情報収集を行う予定。</p>
---------	---